

「敬老の日」関連ニュース

◎朝日新聞デジタル

記事

東京版) 超高齢社会という難問解ける？

250人検定挑戦

井上恵一朗

2014年9月14日 03時00分



高齢社会検定に臨む人たち＝13日午後、目黒区の東大駒場キャンパス

65歳以上の高齢者が人口の4人に1人を占める日本。2030年には3人に1人に――。そんな「超高齢社会」における課題解決に役立つ知識を問う「高齢社会検定」が13日、東京大学駒場キャンパス（目黒区）であった。自治体職員や会社員ら250人が挑んだ。

検定は昨年続き、2回目。東大は2009年度、全学部を横断する80人で組織する「高齢社会総合研究機構」を立ち上げた。高齢化最先進国となった日本。高齢者が少数だった人口構成の時代にできあがった現在の社会の仕組みを、根本から見直す取り組みが必要との問題意識からだ。

守備範囲は、「人はどう老いるのか」といった生物学的な研究や、医療・社会保障制度にとどまらない。高齢社会で取り組むべき課題は、バリアフリー建築から、おむつを含めた服飾品の開発まで多岐にわたる。

◎日本経済新聞

75歳以上高齢者「8人に1人」に 総務省推計

2014/9/14 18:37

総務省が14日、敬老の日に合わせてまとめた15日時点の推計人口によると、65歳以上の高齢者人口は3296万人で過去最多だった。1947～49年生まれの「団塊の世代」のうち、49年生まれが新たに65歳に達し、年内には同世代の全てが65歳以上となる。8人に1人は75歳以上の後期高齢者で、高齢化社会が急速に進んでいる実態が浮き彫りになった。

同省統計局が2010年の国勢調査をもとに、その後の出生数や死亡数などを加味して推計した。3カ月以上滞在する外国人も含む。

65歳以上の高齢者人口は1年前より111万人増えた。日本の総人口（1億2707万人）に占める高齢者の割合も25.9%（前年比0.9ポイント増）と過去最高を更新。高齢者の人口と総人口に占める割合は比較可能なデータのある50年以降、増加を続けている。

男女別では65歳以上の男性が1421万人、女性は1875万人。75歳以上の人口は1590

万人で、総人口の12.5%を占める。85歳以上も478万人(3.8%)に達した。

国立社会保障・人口問題研究所の予測によると、65歳以上の高齢者の割合は24年に30%を突破し、35年には33.4%になる。

一方で13年の住宅・土地統計調査によると、高齢者がいる世帯数は2086万世帯で、48年の同調査開始から初めて2000万世帯を超えた。このうち高齢者が単身で住む世帯は552万世帯で、5年前より138万世帯増えた。

◎朝日新聞デジタル

記事

両陛下、「老人大学教室」視察 今年で最後

2014年9月30日12時31分

天皇、皇后両陛下は30日、東京都練馬区の区立練馬文化センターで、区老人クラブ連合会の「老人大学教室」を視察した。健康のためコーラスやフラダンスに取り組むお年寄りに声をかけ、励ました。

敬老の日にちなんだ訪問で、1992年から続けてきたが、今年で最後になった。迎える高齢者が両陛下よりも若い場合が増えているため、来年以降は、こどもの日にちなんだ学校などの訪問と合わせて、皇太子ご夫妻や秋篠宮ご夫妻に引き継ぐ。

両陛下を迎えたこの日、コーラスの教室では、93歳を最高齢とした約30人が、原発事故後の福島を思う歌を披露。フラダンスの教室では女性8人が優雅な舞を見せた。両陛下は「ずいぶん練習したんでしょう」「いつまでもお元気で」などと一人一人に声をかけた。

◎朝日新聞デジタル>

記事

家電業界、狙いはシニア 値段高めでも使いやすさ追求

南日慶子、近藤郷平

2014年9月18日16時06分

家電大手は、50代以上のシニア世代に向けた新製品を次々と売り出している。国内の人口は減っているが、シニアはこれからも増え続けるのに目をつけた。シニアが使いやすいように工夫し、その分値段は高めにして、国内市場での売り上げを確保しようとしている。

パナソニックは17日、おもに50～60代に向けた新たな家電シリーズ「Jコンセプト」を東京都内で発表した。紙パック式掃除機は、新開発の小型で軽いモーターを使うなどして同種の掃除機では世界で最も軽いという重さ2キロ。エアコンは冷える足元にしっかりと温風が届くようにした。掃除機は11月25日に発売し、税抜き想定価格は5万5千円前後。エアコンは10月下旬から順次発売し、21万円前後からで、ともに高めだ。

これらの商品は、シニアが家電に抱えている不満を聞いて開発した。来年度は洗濯機と

炊飯器の発売を予定しており、シニア向け家電の売上高は2016年度に500億円、18年度に1千億円を目指すという。パナソニックの高見和徳専務は「国内の家電市場は長期的には台数が減る。売り上げのプラスを狙い、シニアに焦点を当てた」と話す。

◎Spotlight

敬老の日に100m背泳ぎで世界記録を樹立！ 100歳の超人おばあちゃん・長岡三重子さん

2014.09.16

9月15日の敬老の日に行われた「2014 スポーツ報知マスターズスイミング長水路大会」の女子100メートル背泳ぎで、自身の世界記録をさらに6秒02更新し、3分39秒81という新記録を樹立しました。

彼女が水泳を始めたのは80歳の時。長年続けた「能楽」を膝の故障で中断し、リハビリのためにプールに通い始めたのがきっかけ。「(水の中を)進んでいくのが楽しい」と水泳の楽しさを覚えたのだそう。

84歳で大会に初出場し、翌年日本新記録を達成。

それから3年後の世界大会で3位になったのですが、メダルの色に満足できず、91歳でコーチの指導を受け始め、大会記録を次々と更新。ここから長岡さんの快進撃が始まります。アメリカの世界大会では金銀銅全てのメダルを獲得、95歳で世界新記録を29個、日本新記録を47個も樹立します。

2014年7月に行われたジャパンマスターズでも50メートル背泳ぎで1分33秒89で泳ぎ、自身が今年記録した100歳区分の世界記録を15秒以上も更新しています。

新しいことを始めるのに、遅すぎるなんてことはないんだと教わったような気がしました。命ある限りいつまでも挑戦し続ける長岡さん、素敵です



◎伊豆新聞

1面コラム 潮の響=きょう「敬老の日」

9月16日(火)11時34分配信

きょうは「敬老の日」。以前は15日に固定されていたが、「ハッピーマンデー」により2003年から「9月の第3月曜日」となった。そのため“敬老の日らしく”15日に当たるのは08年以来6年ぶり。

▼この日を中心に各市町などで記念行事が行われるが、老人施設では心温まる訪問もある。熱海市の特別養護老人ホーム「姫の沢荘」には先日、同市立緑ガ丘幼稚園の年長児 17 人が訪れ、入所者約 50 人と触れ合った

▼園児たちは最初に「ひよっこりひょうたん島」「おじいちゃんもおばあちゃんも」の 2 曲を歌い、元気に踊りも披露。入所者はひ孫のような園児たちのかわいらしい姿に大喜び。交流タイムでは園児が入所者の後ろに回り、音楽に合わせて肩をたたいて「長生きしてね」と声を掛けた

▼厚生労働省が先に発表した、住民基本台帳に基づく全国の 100 歳以上の高齢者は、5 万 8820 人（9 月 1 日現在）。人口は減少に転じているが、前年比 4423 人の増加。うち 87%の 5 万 1234 人が女性という。最高齢は男性 111 歳、女性 116 歳だそうだ

▼一方、県内の 100 歳以上は 1742 人。前年比では 214 人増だが、10 年前（688 人）と比べると 2・5 倍にもなる。内訳は男性 248 人、女性 1494 人。女性の割合が高いのは県内も同様だ

▼伊豆地区 12 市町の高齢化率（4 月 1 日現在）は 32・4%。超高齢化社会に向け多くの課題が指摘されているが、まずは人生の先輩の長寿を祝いたい。

◎長崎新聞

敬老の日で知事ら施設訪問

9 月 17 日(水)9 時 7 分配信



中村知事（左）からお祝いされる湯川さん（中央）と小西さん＝長崎市戸町

「敬老の日」の 15 日、中村法道知事や田上富久長崎市長らが市内の高齢者施設を訪れ、入所者の長寿をお祝いした。

中村知事は、長崎市戸町の特別養護老人ホーム青葉苑を訪問。本年度 100 歳を迎える

湯川ユキ子さんと小西マツさんに祝い状や花束を贈った。2人とも同市出身。湯川さんは戦争で夫を亡くし、女手一つで1男1女を育てた。小西さんは1男3女を育て上げ、現在は体操をしたりテレビを見たりしているという。

中村知事は「いつまでも心身共に健やかに長生きしてください」と祝いのあいさつ。湯川さんは「ありがとうございます。もっと長生きしたい」と話した。

田上市長は、同市宿町の養護老人ホーム日見やすらぎ荘を訪れ、約30人の入所者に「ご長寿おめでとうございます。毎日たくさんの笑顔を見せてください」と祝いの言葉を掛けた。河村時保さん（79）が「できるだけ健康で過ごせるよう努力したい」と礼を述べた。

県によると、1日現在、県内で本年度100歳になるのは466人。100歳以上の長寿者は1237人となっている。

◎山形新聞

15日は敬老の日、県内の3人紹介 年を重ね、輝き増す

2014年09月15日 14:33

日ごろマイナスイメージばかりがクローズアップされる高齢化社会。一方で、傘寿（数え年80歳）、卒寿（数え年90歳）を過ぎても趣味に、運動に、仕事に生き生きと取り組むお年寄りがいる。「人生もっと楽しまなきゃ」。15日は敬老の日。すてきに年を重ねた県内の3人を紹介する。

まり作り続け、笑顔も贈る一本間アキノさん（97）



笑顔で御殿まりを作る本間アキノさん＝尾花沢市野黒沢

尾花沢市野黒沢の本間アキノさん（97）の長寿の秘訣（ひけつ）は、御殿まり作り。「手を動かしているから元気でいられる」と、毎日元気にまりを作り続けている。

「趣味」に取り組むようになったのは50代になってから。手先が器用だったことも

ありすぐに上達し、地元の小学校などでも教えるようになった。今もその腕前は健在で、完成したまりを周囲に届け喜ばれている。本間さんの作品は市役所や病院など、多くの施設に飾られている。「まりを見てみんな喜んでくれる。それが何よりうれしい」

少し耳が遠くなったというが、大きな病気もなく、ご飯もよく食べ、風呂も1人で入る。「おしゃべりも大好き」といい、同居するひ孫との会話も楽しみ。「好きなことをやり続けられて幸せ。これからもまりを作ってたくさんの人に贈りたい」と笑顔を見せた。

レジ打ち、仕入れてきばき一平良吉さん（90）



会計を済ませた客と話をする平良吉さん＝高島町元和田

高島町元和田で食料品店「平吉弥商店」を家族と営む平良吉さん（90）は、レジ打ちで店に立つほか、野菜の仕入れを担当している。店が混み始める平日の夕方、てきばきと会計。「ありがとう。今日はポイント3倍だからシール60枚ね」など、必ず客に一声掛ける。

店は1901（明治34）年から続き、店名の「平吉弥」は祖父の名前。平さんは太平洋戦争に召集され、シンガポールで従軍、その後2年の抑留生活から戻った20代前半に店で働き始めた。抑留生活を経験しただけに「食べたいものが食べられる現代は幸せだね」。好き嫌いは一切ない。

町内産マツタケの仕入れ、販売も展開。シーズン初めのこの時期は、客との豊凶予測が楽しみの一つだ。「今年は豊作のような気がする。気合が入るね」と商売人の目に変

わった。

ボウリングの道さらに追求—伊藤輝一さん（86）



全国長寿ボウラー一番付で関脇の伊藤輝一さん＝酒田市本町3丁目

酒田市本町3丁目の伊藤輝一さん（86）は、日本ボウリング場協会全国長寿ボウラー一番付で「関脇」に認定されている。最盛期のスコアには及ばないが、ピンに向かうボールが描く「理想のライン」を追い求めている。

菓子店を営み、釣り好きだった伊藤さんがボウリングと出会ったのは、45歳のクリスマス。仕事が終わった後に釣り仲間と市内のボウリング場に初めて入った。「釣りができない時の運動にいいかも」と思って始めたが、次第にのめり込んでいった。ほぼ毎日通い、最高スコアは290台。40～50代のころは、全国大会にも何度か出場した。

「自分の思い通りにボールをコントロールできたときは最高の気分」と魅力を語る伊藤さん。60歳以降は公式大会への出場はなく、現在は仲間と健康づくりのために楽しんでいる。「小さな大会でもいいので、また出場できたらいいな」